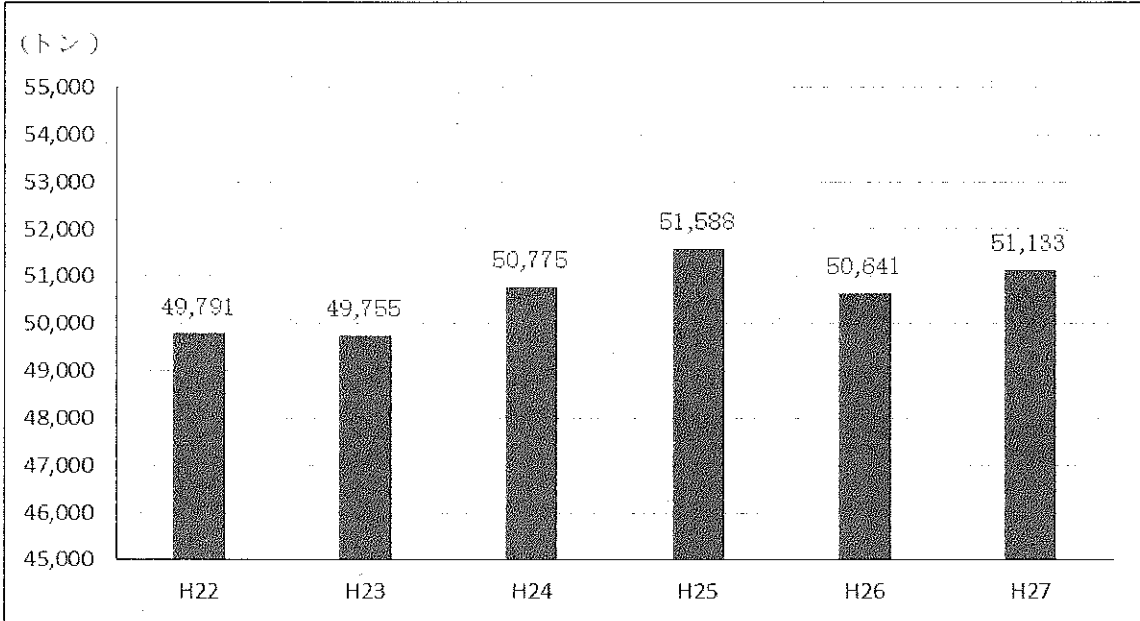


1 ごみ搬入量について

平成27年度に桑名広域清掃事業組合資源循環センターへ搬入されたごみの総量は、51,133トンで、前年度と比較すると492トン（1.0%）の増加となった。
過去5ヵ年との比較では、平成22年度と比較して1,342トン（2.7%）増加しており、年度毎に増減は生じているものの概ね増加傾向で推移している。

グラフ1 ごみの搬入量の推移



(1) 種類別のごみ搬入量

搬入ごみの種類別内訳は、可燃ごみが45,674トンで、前年度と比較して299トン（0.7%）の増加、不燃・粗大ごみは、3,824トンで、前年度と比較して195トン（5.4%）の増加、プラスチックごみは、1,635トンで、前年度と比較して2トン（0.1%）の減少となった。

過去5ヵ年との比較では、可燃ごみは、微増傾向で推移している。一方、不燃・粗大ごみ及びプラスチックごみは、減少傾向で推移している。

表1 種類別ごみ搬入量

(単位：トン、%)

種類	可燃ごみ		不燃・粗大ごみ		プラスチックごみ		合計	
	搬入量	前年度比	搬入量	前年度比	搬入量	前年度比	搬入量	前年度比
H22	43,766	/	4,167	/	1,858	/	49,791	/
H23	43,945	0.4	4,009	△3.8	1,801	△3.1	49,755	△0.1
H24	45,134	2.7	3,931	△1.9	1,710	△5.1	50,775	2.1
H25	45,948	1.8	3,950	0.5	1,690	△1.2	51,588	1.6
H26	45,375	△1.2	3,629	△8.1	1,637	△3.1	50,641	△1.8
H27	45,674	0.7	3,824	5.4	1,635	△0.1	51,133	1.0

(2) 搬入形態別ごみ搬入量

収集ごみ（各団体で収集した家庭ごみ等）と一般ごみ（事業系ごみ及び資源循環センターへ直接搬入された家庭ごみ）で区分した搬入形態別の搬入量内訳は、収集ごみが34,584トンで、前年度と比較して71トン（0.2%）の増加、一般ごみは、42,133トン（2.6%）の増加となった。

過去5ヵ年との比較では、収集ごみは、年度毎に増減は生じているものの、概ね横ばい傾向で推移している。一方で、一般ごみは増加傾向にある。

表2 搬入形態別ごみ搬入量

(単位：トン、%)

区分	収集ごみ		一般ごみ		合計	
	搬入量	前年度比	搬入量	前年度比	搬入量	前年度比
H22	34,486		15,305		49,791	
H23	34,832	1.0	14,923	△2.5	49,755	△0.1
H24	35,208	1.1	15,567	4.3	50,775	2.1
H25	34,666	△1.5	16,922	8.7	51,588	1.6
H26	34,513	△0.4	16,128	△4.7	50,641	△1.8
H27	34,584	0.2	16,549	2.6	51,133	1.0

(3) 団体別のごみ搬入量

平成27年度における団体別のごみ搬入量は、桑名市は42,261トンで、前年度と比べ449トン（1.1%）の増加となった。いなべ市は2,116トンで、前年度とほぼ同量となった。木曾岬町は1,195トンで前年度と比べ28トン（2.3%）の減少となった。東員町は5,561トンで、前年度と比べ72トン（1.3%）の増加となった。

過去5ヵ年との比較では、桑名市は微増傾向にある。いなべ市は、平成25年度にごみ焼却施設工事の影響から搬入ごみが一時的に増加する要因が生じたが、この分を除いても通期では増加傾向にある。木曾岬町は、年度により若干の増減が生じているものの近年は減少傾向にある。東員町は減少傾向にあったものの近年は増加に転じている。

表3 構成団体別ごみ搬入量

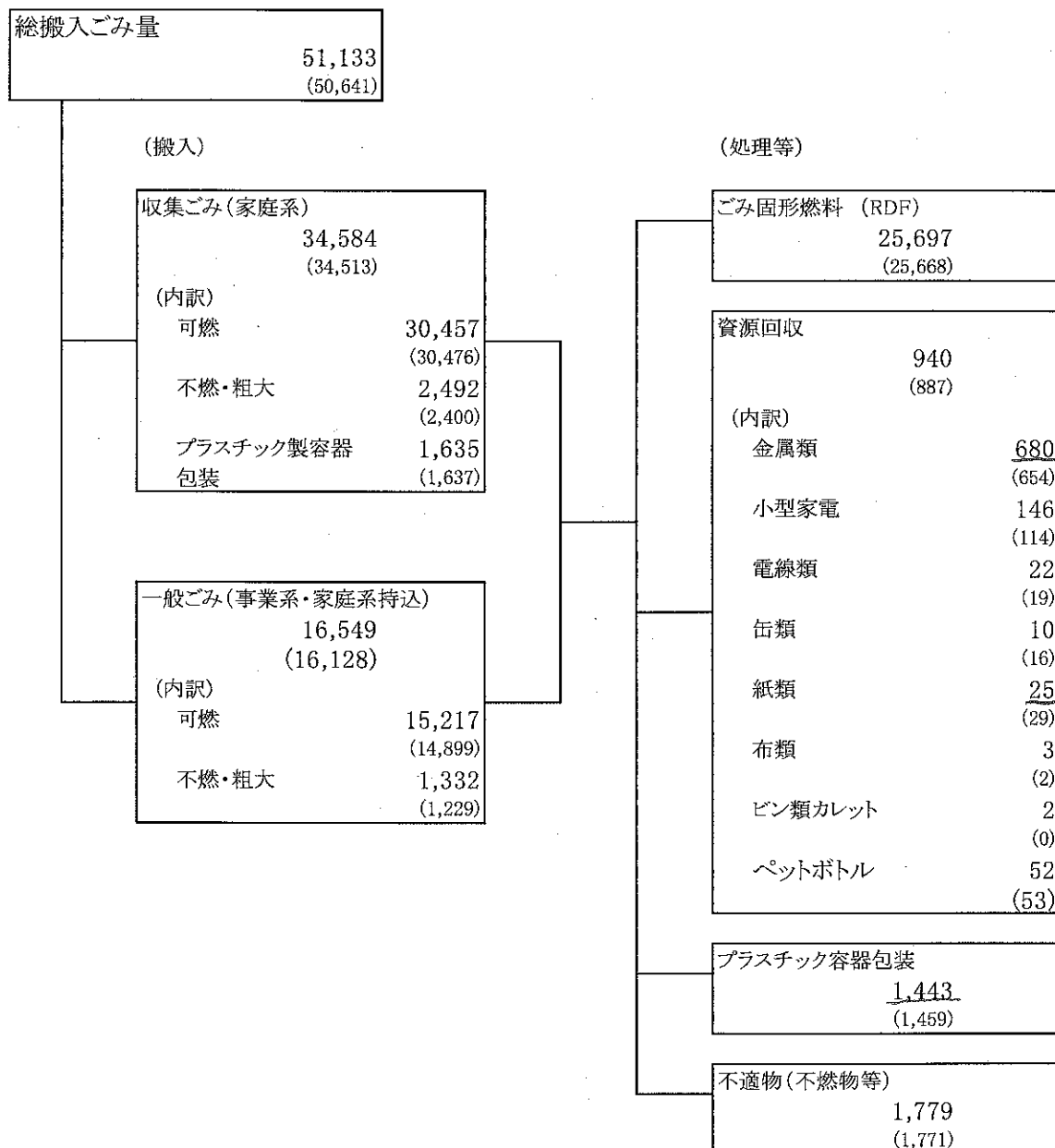
(単位：トン、%)

団体名	桑名市		いなべ市		木曾岬町		東員町		合計	
	搬入量	前年度比	搬入量	前年度比	搬入量	前年度比	搬入量	前年度比	搬入量	前年度比
H22	40,981		1,950		1,448		5,412		49,791	
H23	40,786	△0.5	2,024	3.8	1,615	11.5	5,330	△1.5	49,755	△0.1
H24	41,300	1.3	2,524	24.7	1,713	6.1	5,238	△1.7	50,775	2.1
H25	41,701	1.0	3,313	31.3	1,240	△27.6	5,334	1.8	51,588	1.6
H26	41,812	0.3	2,117	△36.1	1,223	△1.4	5,489	2.9	50,641	△1.8
H27	42,261	1.1	2,116	0.0	1,195	△2.3	5,561	1.3	51,133	1.0

2 ごみの処理状況

平成27年度に資源循環センターへ搬入されたごみの処理状況は、可燃ごみでごみ固形燃料（RDF）を25,697トン製造したほか、粗大、不燃ごみ等から940トンの金属類等をリサイクル資源として回収し、有価資源物として売り払いした。また、プラスチック製容器包装では、1,443トンを再商品化等資源として回収した。その他、当施設で資源物として処理できない不適物（不燃物等）1,779トンは、民間事業者へ処理を委託した。

図1 平成27年度ごみ処理状況（カッコ内は平成26年度数値）（単位：トン）



3 施設見学について

当組合は、啓発事業の一環としてごみ処理施設の視察・見学を受け入れている。視察・見学者の内訳としては、構成市町の小学校4年生の社会科学習としての見学が主なものとなるが、このほか、地域の各種団体や国内外からの行政視察等も受け入れている。

表4 施設見学者受入人数

(単位：人)

区分	小学生	行政視察 (内外国人)	その他 (内外国人)	合計
H22	1,352	342(300)	326(35)	2,020(335)
H23	1,594	105	76	1,775
H24	1,331	51(12)	91	1,473(12)
H25	1,599	92(10)	74(7)	1,765(17)
H26	1,495	18(7)	64(3)	1,577(10)
H27	1,476	56(7)	67(8)	1,599(15)

※平成22年度の行政視察は、韓国の自治体が地域関係者（住民等）を同行したため数値が大きくなっている。